

外国語活動部 活動報告

部長 星 邦央

1 研究主題

コミュニケーションへの積極性を高める授業
～英語ノートの自校化の在り方を探る～

2 研究主題設定の意図

外国語活動の目標は次の3つの柱から成り立っている。①外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。②外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。③外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。この3つの柱を踏まえた活動を統合的に体験することで、コミュニケーション能力の素地を養うのである。

コミュニケーションの本質を考えた時に、これまで行われてきた指導は、児童の必要感や意欲が伴わないコミュニケーションがほとんどだったのではないかという問題点が浮上する。コミュニケーションへの積極性を育むためには、学習者自身から生まれる「知りたい」「伝えたい」という知的好奇心を喚起する指導を行う必要がある。教師からの一方的な課題ではなく、「ALTの先生が英語で何を言っているかを知りたい」「これを英語でどういうのか知りたい」「自分の思いや考えを伝えたい」という児童自身の興味・関心に根ざした活動であれば、児童は積極的にコミュニケーションをすると考えられるからである。

英語ノートを教材として考えた時に、豊富な語彙や内容が含まれており、研究校で実践されてきたことが紹介もされている。しかし、そのまま使っていては面白くはないし、本当の意味のコミュニケーション能力は育たない。英語ノートを活用しながら、児童が興味を抱き、持続させながら「コミュニケーションしたい」と思わせるような授業を作っていくことが、外国語活動が本格スタートしたこの年に我々がやらなければならないことであると考えます。

3 事業の実際

- 4月 代表部員会 事業計画立案
- 9月 第1回部会 研修会
 - ・講師 佐藤 貴子 先生（新潟市立白根小学校）による師範授業
 - ・講話
- 12月 第2回部会 模擬授業発表会
 - ・部員による模擬授業発表
 - ・情報交換

4 成果と課題

- 佐藤先生の色をテーマにした師範授業から、①太陽の色は何色？②世界の信号の色③「青」についての認識④絵本「Hello red fox」の読み聞かせによる補色体験など、子どもが興味関心を抱きながらコミュニケーションしたくなる姿を目の当たりにすることができた。
- 佐藤先生の授業感についてお話いただき、①「聞くこと」に重点をおいた活動の展開②子どもの知的好奇心を満たす内容を視覚的な情報と共に英語で提示すること③コミュニケーションの多様性を保証することの大切さを学ぶことができた。
- 外国語活動については、まだまだその目標や本質を理解している教師は少ない。そして高学年の先生だけのものという意識もある。目標を正しく理解しながら、教師の授業力を向上させていく必要がある。